



## 徹底した機能・価値の追求から技術購買まで 『製品コストダウンのためのVE・TRIZの活用』

日 時／2013年6月7日(金)10:00~17:00  
会 場／東京・渋谷近辺の会議室  
受講料／会員 31,500円 一般 37,800円  
(消費税・テキスト代を含みます)



**講 師**  
 (株)MEマネジメントサービス 常務取締役  
 中央大学アカウンティングスクール兼任講師  
**大塚 泰雄 氏**

### 製品開発プロセスで目標原価を造りこむツボとコツ

開発・設計に関する、各社共通の課題として以下のようなものが挙げられます。

- ・ 『設計者が、製品がいくらで出来ているか把握しておらず、原価意識がない』
- ・ 『手間をかけた割にはVE効果が少なくマンネリ化している』
- ・ 『コストに占める開発費の負担が大きくなっている』
- ・ 『外注品・購入品の比率が高まりコストダウンに苦労している』

これらの問題には、開発段階において理想的な原価目標を設定し、製品開発プロセスで目標原価を造りこむ事と設計者においても購入価格低減策の知識を身につけておく事が重要になります。

本セミナーでは、開発設計での革新的なコストダウンを狙いとし開催いたします。

### 【プログラム：6月7日(金) 10:00~17:00】

1. 『原価企画に必要なコストダウン余地分析』 - コストダウンの可能性を分析する -
  - 1-1 まずは製品別・事業別原価データの収集する
  - 1-2 設計改善対象製品の選定方法とは
  - 1-3 製品のコストダウン余地を分析する
  - 1-4 原価企画の実態と進め方
  - 1-5 原価企画に強力な武器となるCAD見積
2. 『使用機能と感性機能から最適コストを追求』 - 製品価値は機能とコストのバランスで決まる -
  - 2-1 VE(価値工学)とは何か
  - 2-2 目的機能追求と機能定義
  - 2-3 機能評価と改善の方向性を決定する
  - 2-4 感性機能と評価の考え方
  - 2-5 感性機能を織り込んだ感性VEの進め方
3. 『世界の発明原理 TRIZ(トリス)を使ったコストダウン』 - 画期的な発想で大きなコストダウン効果を狙う -
  - 3-1 実践的なアイデア発想と TRIZ の位置づけ
  - 3-2 TRIZ とは何か
  - 3-3 アルトシューラーの発見と TRIZ の特徴
  - 3-3 対立マトリックスを使いこなす
  - 3-5 6000 ある世の中の科学的原理・法則を活用する
4. 『設計者として知っておきたい購入価格低減策』 - 売り買い協業で改善提案を推進する -
  - 4-1 技術購買による購入価格の低減策
  - 4-2 材料費・加工費の低減ポイント
  - 4-3 統一化へ向けて技術的分析を試みる
  - 4-4 設計レビューでのコストダウン方法
  - 4-5 サプライヤーに改善提案を求めるには

※電卓をご持参ください

★『コストダウンの実践にあたり』

**講師紹介**

**㈱MEマネジメントサービス 常務取締役**  
**中央大学アカウンティングスクール兼任講師 大塚 泰雄 氏**



大手工作機械メーカーに11年勤務。開発・設計、製造、営業技術などを経験し、主に企業では、設計・生産技術・購買・製造部門の原価管理システムの立案・構築・実施や VE、IE、購買査定テーブルを活用した、総合的コストダウンを展開し、企業の業績を改革するコンサルティング業務が活動の中心である。その他、公開セミナー、社内教育などの活動も行う。最新著書に『よくわかる金型の原価管理とコストダウン』『見える化でわかる売り値と買い値』(日刊工業新聞社刊)がある。中央大学のアカウンティングスクールにて、「原価管理論」の講座を担当。  
 専門:バリューエンジニアリング(VE)、設計標準化、設計管理、工場管理、生産管理、生産性向上、品質管理、標準原価管理

**参加申込は**

**FAX (03)-3400-8694**  
 ホームページ <http://www.j-ie.com/>

下記ご記入のうえ  
 このまま FAX にて  
 お申込みください。

**『製品コストダウンのための VE・TRIZ の活用』**

CA38

2013年6月7日 植木

■ 貴社名		■ 所在地(〒 - )	
氏名		所属/役職	
派遣責任者	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
参加者(1)	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
参加者(2)	フリガナ	E-mail:	TEL: FAX:
合計【      】名		参加費【                      円】	

■キャンセル規定に関して■

申込受け後、おそ開催日の10日前になりましたら、参加証(集合案内)、請求書を郵送いたします。正式受付後、参加予定者のご都合が悪く出席できない場合には、代理の方にご出席をお願いします。代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けます。

【注】※キャンセルは、必ずE-mail、または、FAXにて、日本IE協会までご連絡下さい。】

- ・開催日の7日前～前々日(開催日初日を含まず起算):参加費の50%
- ・開催日の前日および当日:参加費の全額(料金のご返金はできません)

**お申込・お問合せ**

**日本インダストリアル・エンジニアリング協会**  
**THE JAPAN INSTITUTE OF INDUSTRIAL ENGINEERING**  
 〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1  
 TEL.03-3400-8715 FAX.03-3400-8694  
 E-mail: [jiie@j-ie.com](mailto:jiie@j-ie.com) Website: <http://www.j-ie.com/>

担当: 第一企画部  
 植木・添田

■個人情報の取扱いについて■

1. 参加申込によりご提供いただいた個人情報は、(公財)日本生産性本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。なお、(公財)日本生産性本部個人情報保護方針の内容については、(公財)日本生産性本部ホームページ ([http://www.jpcc-net.jp/others/kojin\\_joho.html](http://www.jpcc-net.jp/others/kojin_joho.html)) をご参照願います。

- 参加されるご本人、ご連絡担当者の皆様におかれましては、内容をご確認、ご理解の上、お申込いただきますようお願いいたします。
2. 個人情報は、『日本IE協会』の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに日本IE協会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内、および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。
  3. 法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。
  4. 各種ご案内の送付などを外部に委託することがありますが、委託先にはご本人、ご連絡担当者へのサービス提供に必要な個人情報だけを開示し、サービス提供以外に使用させることはありません。
  5. ご本人からの求めにより、開示対象個人情報の利用目的の通知、開示、訂正、追加又は削除、利用の停止、消去及び第三者への提供の停止に応じます。この件については、日本IE協会(会員担当:連絡先 TEL03-3400-8715)または(公財)日本生産性本部総務部個人情報保護担当窓口(TEL03-3409-1112)までお問合せください。【責任者:個人情報保護管理者(総務部長)】
  6. お申込書に個人情報を記入するか否かの判断はご本人次第ですが、必要な個人情報が不足していた場合は日本IE協会からのサービスの全部、または一部が受けられないことがあることをご了承願います。
  7. 日本IE協会は、クッキー等のご本人が容易に認識できない方法によって個人情報を取得することは行っておりません。
  8. 本案内記載事項の無断転載をお断りします。